

令和7年度私立短期大学入試広報担当者研修会 テーマ別分科会B報告書

テーマ：SNS・WEBサイト

コーディネーター

仁愛女子短期大学	後久 真嗣	委員
聖徳大学短期大学部	水浦 直樹	委員
広島文化学園短期大学	清水 研太郎	委員

(1) テーマ別分科会1 (コーディネーター3名、参加者39名 計42名)

- ・後久委員を進行役として分科会スタート。資料を画面共有し、具体例を交えながら、学生募集の広報戦略として SNS や WEB 広報の位置づけを説明した。
- ・テーマを「①活用している SNS は?」「②Instagram の活用状況について」「③SNS の投稿について」「④SNS を見てもらうには?」「⑤公式ホームページについて」に分解し、ストーリーテリング方式で後久委員は語りかけ、現在自身の短大で行っている SNS の種類のほか、活用のポイント、そして課題と解決策を講じていた。清水委員、水浦委員への振り方も絶妙なタイミングで、事前のリハーサル通りに展開した。
- ・「仁短の戦略として Instagram を近時は重要と位置づけている」「聖徳短大ではXも活用している」など、各短大単位での活用実績を参加者へお伝えし、参加者の興味・関心を振り向かせることができていたようだ。
- ・分科会1のテーマ内容について、最後までしっかりと説明することができた。SNS は広告ツールとして即効力に富むが、反面、炎上リスクなどもかかえており、情報の管理や発信ルールなどについてもしっかりと触れていた。

(2) テーマ別分科会2

- ・小規模分科会 (※B 分科会は 10 グループ分割。ブレイクルーム 1~4 は後久委員、5~7 は水浦委員、8~10 は清水委員が担当し、ブレイクルームを巡回しそれぞれの参加者のディスカッションの進捗を確認) のグループディスカッションについて各グループの報告者から説明を受けた。
- ・ここで進行役の後久委員は、各報告者のあとに必ず報告の内容に気づきやヒントなどわかりやすく解説を加えて説明しており、分科会の進行を手際よく取りまとめた。素晴らしかったのは、時間内で 10 グループの発表をしっかりと終えさせたこと。これは簡単なことではなく、「予めのタイムテーブル、各発表者の発表内容を聞き、瞬時に整理・まとめる」高度なコーディネート力が問われる。これを見事に行い、実に爽快な気持ちになった。

(3) 所見

今回、初参加で諸先輩方の研修会運営に対する事前準備や姿勢について、大変勉強になった。テーマ別分科会と小規模分科会の織り交ぜ方にも工夫があり、各参加者が飽きずに前向きに積極的になるポイントが埋め込まれ、素晴らしい研修会であった。